

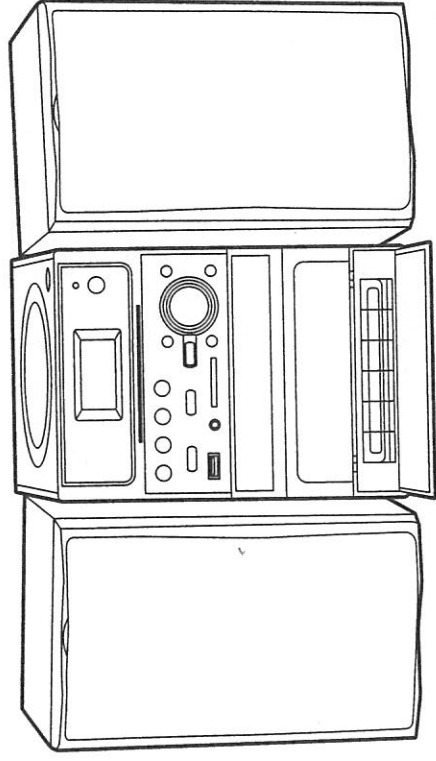
AucSale

Diocconnect

SD/CD/カセット対応ミニコンポ
DCP-500CR

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。
必ずよくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。お読みになっ
たあとは大切に保管してください。



もくじ

安全上の注意	5
使用上のお願ひ	9
ディスクの取り扱ひ	10
パッケージ内容	11
各部名称	12
本体	12
正面	12
背面	13
LCDディスプレイの表示画面	13
リモコン	14
リモコン	15
電池の交換	15
使用方法	15
スピーカーの接続	16
電源	17
電源をオンにする	17
スタンバイにする	17
電源をオフにする	17
基本的な機能	18
機能早見表	18
時刻の設定	19
音量調節	20
消音機能	20
C D	21
基本操作	21
再生/一時停止	21
停止	21
早送り/早戻し	22
メディアへの録音	22

1曲の録音	22
CD1枚の録音	23
録音時のご注意	23
ビットレートの設定	24
カセットへの録音	25
MP3・WMAディスク(CD-R/RW)	26
基本操作	26
情報表示	26
フォルダ間の移動	26
メディアへのコピー	27
コピー時のご注意	27
カセットへの録音	27
ラジオ	28
選局	28
チャンネル登録	28
登録したチャンネルの選択	28
モノラル/ステレオ切替(FM)	29
アンテナ	29
AM	29
FM	29
カセットへの録音	29
カセットテープ	30
基本操作	30
メディアへの録音	31
カセットテープの使用上の注意	31
注意	31
USBメモリ、メモリーカード	32
基本操作	32
ファイルの削除	33
1ファイルの削除	33
全ファイルの削除(フォーマット)	34
カセットへの録音	35

USBメモリ、メモリーカードの使用上の注意	35
その他の機能	36
リピート、イントロ再生、ランダムモード	36
プログラム再生	37
スリープ機能	38
タイマー機能	39
タイマー機能の設定方法	39
タイマー機能のオン/オフ	40
イコライザー機能	40
画面表示	41
情報ボタン	41
表示ボタン	41
タイトル/フォルダ検索	42
ファイルを検索する	42
フォルダを検索する	43
ヘッドフォンを使う	43
トラブルシューティング	44
仕様	47
アフターサービス	48

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

- ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお読みください
- 表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されることを示します。
	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるか、または物的損害(※3)の発生が想定されることを示します。

※1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 ※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。
 ※3: 物的損害とは、家具、家電および家畜、ペット等にかかわる重大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
	○は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	△は、注意(警告を含む)を示します 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠ 警告

- 煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 落したり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだり、電源プラグが異常に熱くなった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

上記の問題等が発生した場合は、電源プラグを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。

設置されるとき

⚠ 警告

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと
 火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止



指示

電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。
 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



禁止

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。
 本機が落ちて、けがの原因となります。



上置せ禁止

本製品の上に物を置かないこと。
 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
 す。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告



分解禁止

修理・改造・分解をしないこと。
 火災・感電の原因となります。
 点検・調整・修理はサポートセンターにご依頼ください。



異物挿入禁止

ディスプレイなどに異物を入れないこと。
 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
 特にお子様のご家庭ではご注意ください。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと。
 感電の原因となります。



禁止

電源コードは

- ・傷つけたり、延長する加工したり、加熱したりしないこと。
- ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。
- ・火災・感電の原因となります。



禁止

- ・SDメモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かないこと。
 誤って飲み込む恐れがあります。
- ・万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

お手入れについて

⚠ 警告



指示

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる。
 電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。

<p>設置されるとき</p>	<p>注意</p> <p>温度の高い場所に置かないこと。 直射日光の当たる場所、締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となりことがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。</p>	<p>湿気、油煙、ほこりの多い場所に置かないこと。 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となります。</p>	<p>風通しの悪い場所に置かないこと。 内部温度が上昇し、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁に押しつけないでください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ・仰向け・横倒し・逆さまにしないでください。 	<p>指示</p> <p>移動させる場合は、電源プラグ、スピーカーケーブルを外すこと。 電源プラグを抜かずには運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 コードなどを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。</p>	
<p>ご使用になるとき</p>	<p>注意</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと。 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電の原因となります。</p>	<p>旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。</p>	<p>ディスプレイに、手を入れないこと。 指をはさみ、けがの原因となることがあります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	<p>ディスプレイは、変形、または接着剤などで補修したディスプレイは使用しないこと。 ディスプレイは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。</p>

<p>ご使用になるとき</p>	<p>注意</p> <p>電源を入れる前には音量を最小にすること。 また、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。</p>	<p>長時間音が歪んだ状態で使わないでください。 アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。</p> <p>音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</p> <p>ヘッドフォン・イヤフォンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</p>	<p>リモコンに使用している電池は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極性 (+) と (-) を間違えて挿入しないこと。 ・充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れてたりしないこと。 ・電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れてたままにしておかないこと。 <p>これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。 液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。 器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。</p>	<p>電源コードやスピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したりしないこと。 火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p>本製品の上に重量物を載せたり、本来の目的以外に使用しないこと。 けがや故障の原因となります。</p> <p>傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。 けがや故障の原因となります。</p>	<p>指示</p> <p>ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにほかのテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかのテレビやラジオなどからできるだけ離す ・ほかのテレビやラジオなどのアンテナの向きを変える ・コンセントを別にする 	<p>ケーブルは足などに引っかからないように、配線すること。また上に重量物を載せないこと。 熱器具のそばに配線しないこと。 足に引っかけると、けがや接続機器の故障の原因となります。また、ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。</p>
------------------------	---	---	---	--	---	--	---

使用上のお願ひ

お使いになる前に必ずお読みください

● 守ってください

- 本製品を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧などが異なりますのでご使用になれません。
- 屋外では使用しないでください。故障の原因になります。

● 取り扱いに関すること

- 引越など、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 長時間ご使用になると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 普段使用しないときは必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長時間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、使用してください。

● お手入れに関すること

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤をひたしてよく絞った布で拭き取り、その後乾いた布で仕上げてください。洗剤のスプレーを本製品に直接吹きかけるのはおやめください。ペンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

● 設置場所について

- 本製品は水平な場所に設置してください。ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所では使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。

● 著作権法上の注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● 結露(露付き)について

結露はカセットテープや本製品を傷めます。よくお読みください。

- “結露”はこんなときにおきます
 - 本製品を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
 - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなど冷風が直接あたる場所で使用したとき。
 - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
 - 湯気が立ちこめるなど、湿度の多い部屋で使用したとき。
- 結露がおきそうなときは、本製品をすぐにご使用にならないでください。

※結露がおきた状態で本製品をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本製品の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本製品があたたまり、2〜3時間で水滴をとります。または、コンセントに接続しておくで“結露(露付き)”が生じにくくなります。

ディスクの取り扱い

お使いになる前に必ずお読みください

● 再生できるディスクについて

再生できるディスクの種類
市販の音楽CD
CD-DAフォーマットにファイナライズしたCD-R/RW
MP3・WMAファイルを記録したCD-R/RW

- 上記以外のディスクは再生できません。音楽用CD、CD-R/RWでも、規格外のディスクや、傷や汚れ、記録状態や記録機器、記録ソフトの特性等により、再生できないことがあります。

- すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないCD-R/RWは、再生できません。

- 円形以外の特殊な形状(カード型等)のディスク、紙やシールの貼られたディスクは再生できません。

- 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

- パソコン用のデータCD-ROMなど音楽用ではないディスクは使用しないでください。異音の発生などスピーカー、アンプの故障の原因となります。

- 同一のディスクに音楽CD(CD-DAフォーマット)とMP3ファイルを書き込むと、正しく再生されません。

● ディスクの保管の仕方

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

● レンタルCDについて

- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● ディスクの取り扱い方

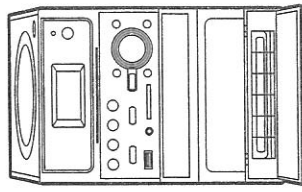
- ディスクについて指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- 再生面には手を触れないでください。



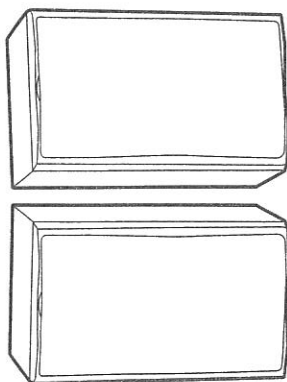
パッケージ内容

お使いになる前に必ずお読みください

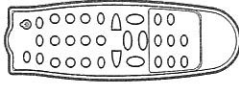
本製品パッケージ内には下記のセット内容が含まれます。お確かめください。



プレーヤー本体



スピーカー ×2



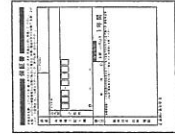
リモコン



リモコン用単4形電池 ×2



取扱説明書(本書)



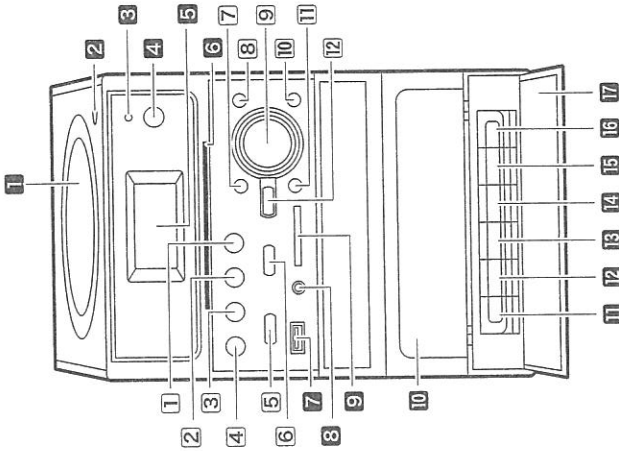
保証書

(注)イラストと実際の製品形状が若干異なる場合があります。

各部名称

本体

正面



- ⑧ 録音/確認ボタン
- ⑨ 音量調節つまみ
- ⑩ 再生モード/リビートボタン
- ⑪ メモリ/時刻調節ボタン
- ⑫ イコライザーボタン

本体のボタン・機能

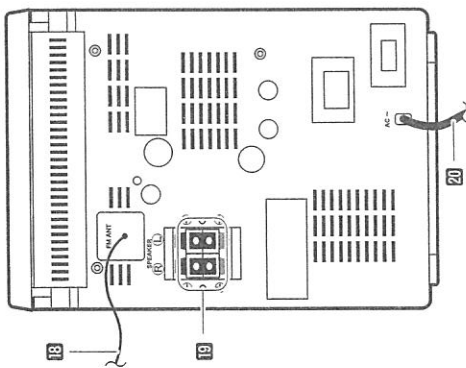
- ① CDドア
- ② CDドア開閉ボタン
- ③ スタンバイLED表示
- ④ リモコン受光部
- ⑤ LCDディスプレイ
- ⑥ 電源LED表示
- ⑦ USB接続ポート
- ⑧ ヘッドフォン出力端子
- ⑨ カードスロット(SD、MMC)
- ⑩ カセットドア
- ⑪ 録音ボタン(カセット)
- ⑫ 再生ボタン(カセット)
- ⑬ 巻戻しボタン(カセット)
- ⑭ 早送りボタン(カセット)
- ⑮ 停止/取り出しボタン(カセット)
- ⑯ 一時停止ボタン(カセット)
- ⑰ カセットボタンカバー

本体/リモコン共通ボタン・機能

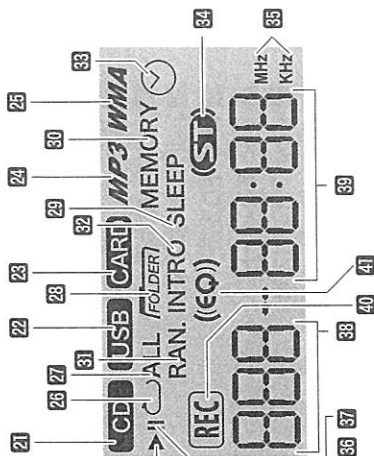
- ① 再生/一時停止ボタン
- ② 停止/バンドボタン
- ③ 早送り/スキップ+ボタン
- ④ 早戻し/スキップ-ボタン
- ⑤ 電源ボタン
- ⑥ 機能ボタン
- ⑦ 選局切替/フォルダボタン

背面

- 18 FMアンテナ
- 19 スピーカー出力端子
- 20 AC電源コード



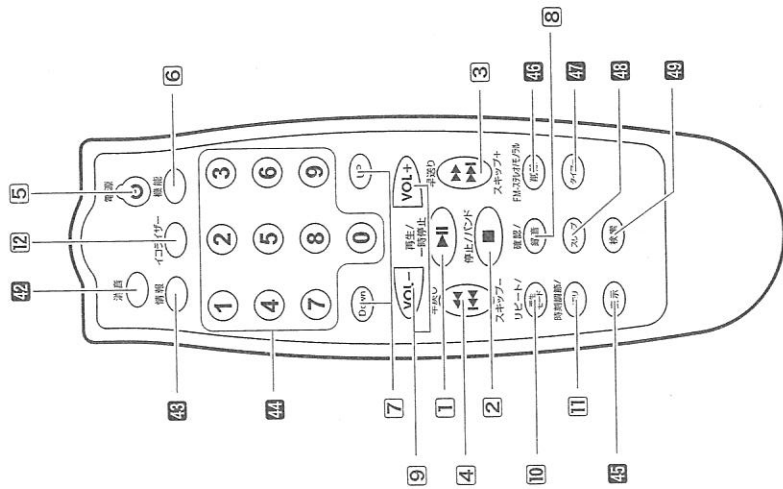
LCDディスプレイの表示画面



- 21 CDモード時に表示
- 22 USBモード時に表示
- 23 CARDモード時に表示
- 24 MP3ファイル再生時に表示
- 25 WMAファイル再生時に表示
- 26 リpeat再生時に表示
- 27 リpeat再生時に26と同時に表示
- 28 フォルダ内リpeat再生時に26と同時に表示

- 29 スリープ設定時に表示
- 30 プログラム再生設定時に表示
- 31 ランダム再生時に表示
- 32 イントロ再生時に表示
- 33 タイマー設定時に表示
- 34 FMラジオをステレオを受信時に表示
- 35 ラジオ受信時にどちらか表示
- 36 再生時に表示(再生アイコン)
- 37 再生の一時停止時に表示
- 38 CDモード時: 総トラック数、再生中のトラック番号、総アルバム数など
- ラジオモード時: 現在のラジオモード、登録チャンネル番号など
- 39 CDモード時: 総トラック再生時間/再生中の曲の再生時間など
- ラジオモード時: ラジオの周波数など
- ※ 各種動作時にファイル名や状態等も38、39に表示されます。
- 40 録音/コピー時に表示(点滅)
- 41 イコライザー機能設定時に表示

リモコン



本体/リモコン共通ボタン・機能

- 1 再生/一時停止ボタン
- 2 停止/バンドボタン
- 3 早送り/スキップ+ボタン
- 4 早戻り/スキップ-ボタン
- 5 電源ボタン
- 6 機能ボタン
- 7 選局切替/フォルダボタン(Down/UP)
- 8 録音/確認ボタン
- 9 音量調節ボタン
- 10 再生モード/リpeatボタン
- 11 メモリ/時刻調節ボタン
- 12 イコライザーボタン

リモコンのボタン・機能

- 42 消音ボタン
- 43 情報ボタン
- 44 数字ボタン(0~9)
- 45 表示ボタン
- 46 FMステレオ/モノラル/削除ボタン
- 47 タイマーボタン
- 48 スリープボタン
- 49 検索ボタン

リモコン

⚠ 注意

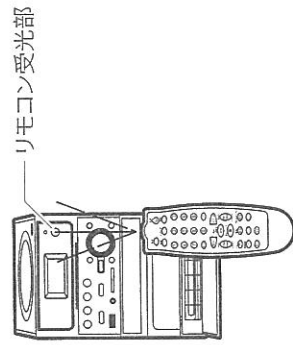
- **リモコンに使用している電池について**
 - ・対応の電池以外は使用しないこと
 - ・極性表示を間違えて挿入しないこと
 - ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしないこと
 - ・電池に表示されている使用推奨期限を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れたままにしたりしないこと
 - ・小さなお子様が誤って飲み込まないよう十分にご注意ください。万が一飲み込んだ場合はすぐに医師の治療を受けてください。

これらを守らないと、液もれ、破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、

電池の交換

- ① リモコン裏面の電池ケースのふたを開きます。
- ② 単4形乾電池2本を電池ケース内の(+)(-)の表示の通りの向きにセットします。
- ③ 電池ケースのふたを閉じます。

使用方法



リモコンを、本体のリモコン受光部に向けてボタンを押します。
 ※リモコン受光部に太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

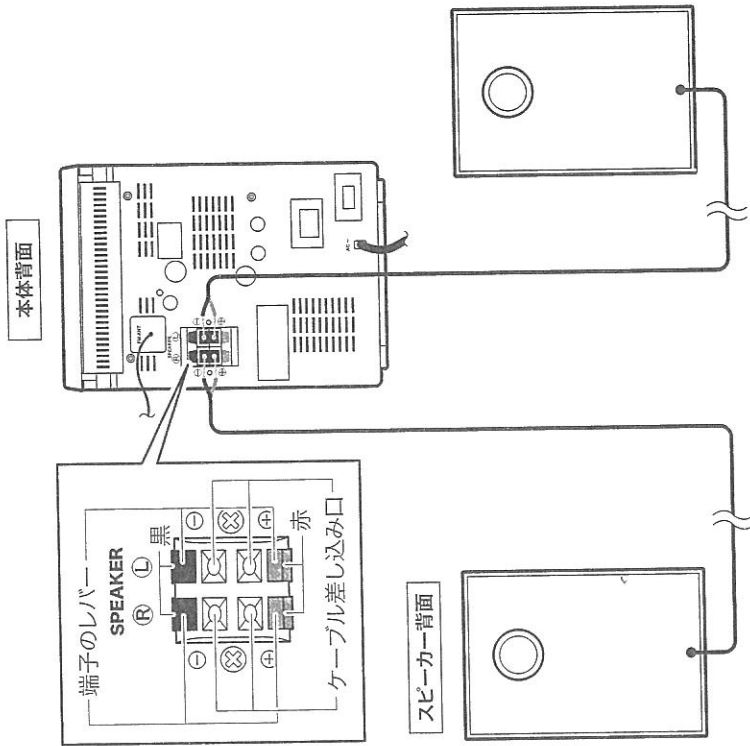
スピーカーの接続

本製品にはスピーカーが2つ付属しています。2つとも同じ構造です。左右のどちらにでも設置できます。

※本体とスピーカーを接続する場合は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。
 ※スピーカーケーブルの色に合わせて接続してください。

- ① スピーカーケーブルの端のビニール皮膜をむきます。
- ② 端子のレバーを押しながらスピーカーケーブルを差し込みます。
- ③ レバーから指を離します。

ケーブルを軽く引いてみて、しっかり接続されている事を確認してください。

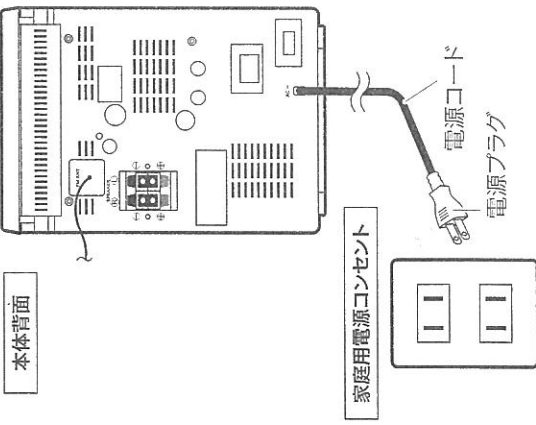


⚠ スピーカーは固い台の上に水平に設置してください。

電源

警告

電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



本製品の電源をオンにするには、最初に電源プラグをコンセントに接続します。

電源をオンにする

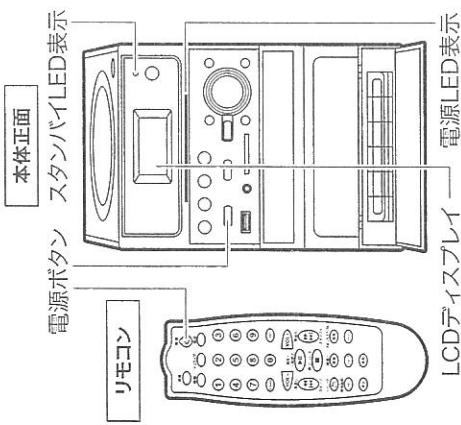
本体/リモコンの〔電源〕ボタンを押します。電源がオンになると、本体の電源LED表示とLCDディスプレイが点灯します。

スタンバイにする

電源がオンの時に〔電源〕ボタンを押すと、スタンバイの状態になります。スタンバイになるとスタンバイLED表示が点灯し、電源LED表示は消灯します。LCDディスプレイには時刻が表示されます。

電源をオフにする

スタンバイの状態では電源プラグをコンセントから抜くと電源がオフになります。スタンバイLED表示、電源LED表示、LCDディスプレイの全てが消灯します。



基本的な機能

本製品では、市販されているCDやカセットテープの再生のほか、MP3・WMA形式のファイル記録したCD-R/RW、USBメモリ、メモリーカード(SDメモリーカード/マルチメディアカード(MMC))の再生、ラジオの受信ができます。

再生だけでなく、USBメモリ、メモリーカードにCDやカセットテープからMP3ファイル形式で録音することができます。

また、CD、CD-R/RW、USBメモリ、メモリーカードに記録された音楽や、受信したラジオを、カセットテープに録音できます。

機能早見表

	再生/ 受信(ラジオ)	カセットへ 録音	メディア※へ 録音(MP3)	メディア※へ コピー (MP3、WMA)	データ削除
CD	○ P.21	○ P.25	○ P.22	×	×
CD-R/RW (MP3、WMA)	○ P.26	○ P.27	×	○ P.27	×
メディア※ (MP3、WMA)	○ P.32	○ P.35	/	/	○ P.33
ラジオ	○ P.28	○ P.29	×	×	/
カセットテープ	○ P.30	/	○ P.31	×	/

※USBメモリ、SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)

時刻の設定

- ① 本製品をスタンバイの状態にします。
- ② 本体/リモコンの**〈時刻調節〉**ボタンを押します。
- ③ 「12HR(12時間表示)」と「24HR(24時間表示)」より表示方法を選択します。選択している方が選択中です(図1)。選択を変えるには、本体/リモコンの**〈早送り〉**〈**早戻し**〉ボタンを押します。
- ④ **〈時刻調節〉**ボタンを押すと選択した時間表示方法が確定され、時刻の設定に続きます。
- ⑤ 時刻表示の「**時間**」の数字が点滅するので(図2)、**〈早送り〉**または**〈早戻し〉**ボタンを押して時刻を入力します。
- ⑥ **〈時刻調節〉**ボタンを押すと入力内容が確定し、「**分**」の入力に移動します。
- ⑦ 時刻表示の「**分**」の数字が点滅するので(図3)、**〈早送り〉**または**〈早戻し〉**ボタンを押して時刻を入力します。
- ⑧ **〈時刻調節〉**ボタンを押して、設定を確定します。

※時刻設定中に操作をしないまま一定の時間が過ぎると、自動的に時刻設定を終え、LCDディスプレイが通常の状態に戻ります。

※電源プラグを抜き電源をオフの状態にすると、時刻設定はリセットされます。再度設定をおこなってください。

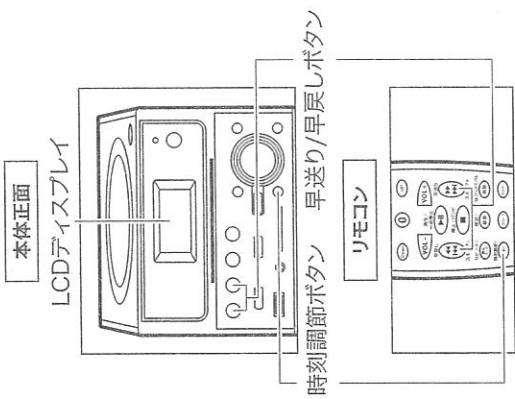


図1



図2



図3

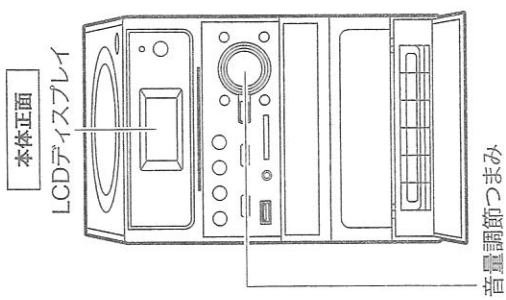


音量調節

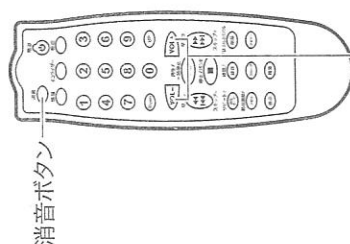
本体の**〈音量調節〉**つまみ、またはリモコンの**〈音量調節〉**ボタンで調節します。本体のつまみは右に動かすと音量が増え、左に動かすと音量が減ります。調節時に**LCDディスプレイ**に**0(MIN)**から**32(MAX)**までの段階で音量が表示されます。音量表示はしばらくすると消え、元の表示に戻ります。

消音機能

リモコンの**〈消音〉**ボタンを押すと音が出なくなります。再び**〈消音〉**ボタンを押すと、消音機能が解除され、元に戻ります。消音中は**LCDディスプレイ**に「**MUTE** (ミュート)」と表示されます。MUTE表示は消音が解除されるまで点滅しています。



リモコン



音量調節ボタン

CD

基本操作

- ①本体/リモコンの〈電源〉ボタンで電源をオンにし、〈機能〉ボタンを押して「CD」モードになります。CDモードになるとLCDディスプレイの上部に「CD」と表示されます。
- ②CDドア開閉ボタンを押してCDドアを開け、ラベル印刷面を上側にしてCDをセットし、ドアを閉めます。
- ③読み込みが終わるとLCDディスプレイにCDの情報(総曲数と総再生時間)が表示されます。

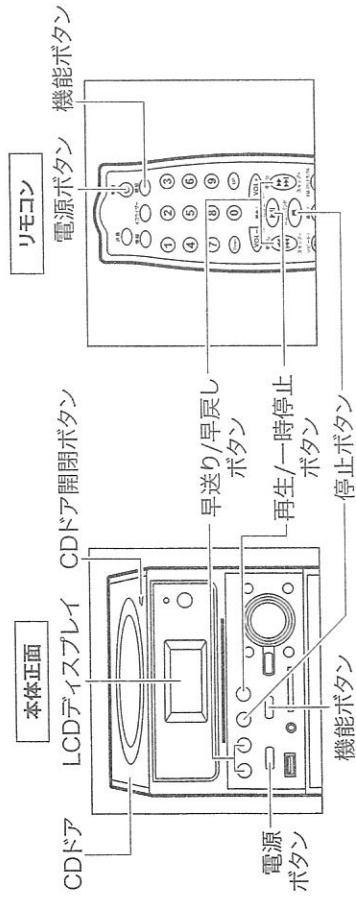


再生/一時停止

- 〈再生〉ボタンを押すと再生が始まります。
再生中は**LCDディスプレイ**に再生中の曲番と再生経過時間が表示されます。
※再生中に〈一時停止〉ボタンを押すと再生を一時停止します。再開するには再び〈一時停止〉ボタンを押します。

停止

- 再生中または再生の一時停止中に〈停止〉ボタンを押すと、再生を停止します。



早送り/早戻し

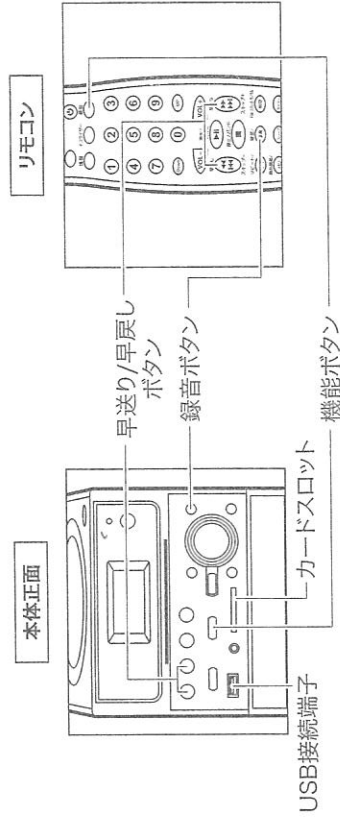
- **早送り(次の曲へスキップ)**
再生または再生の一時停止中に〈早送り〉ボタンを押すと、一つ次の曲に移動します。再生/一時停止の状態は変わりません。
 - **早戻し(前の曲へスキップ)**
再生または再生の一時停止中に〈早戻し〉ボタンを押すと、再生中の曲の始めに戻ります。そのまま続けてボタンを押すと、一つ前の曲に移動します。再生/一時停止の状態は変わりません。
- ※各ボタンを長押しすると、それぞれ「早送り再生」「早戻し再生」になります。

メディアへの録音

本製品ではCDの音声をUSBメモリまたはメモリーカード(SDメモリーカードもしくはマルチメディアカード(MMC))にMP3形式のファイルとして録音することができます。
あらかじめUSB接続ポートにUSBメモリを、またはカードスロットにメモリーカードをセットしておいてください。メモリーカードはカチッと音がするまで差し込んでください。

1曲の録音

- ①本体/リモコンの〈機能〉ボタンを押して「CD」モードにし、録音したい曲を再生します。
- ②本体/リモコンの〈録音〉ボタンを押します。
- ③録音が始まります。LCDディスプレイに「REC」の表示が点滅します。
※再生が途中の場合でも録音は曲の冒頭から始まります。
- ④曲の再生が終わると自動的に録音が終了し、メディア内に**MP3ファイル**が作成されます。
※録音中に中断する場合は、〈録音〉ボタンを押してください。



CD 1 枚の録音

- ① 本体リモコンの〈機能〉ボタンを押して「CD」モードにし、録音したいCDをセットします。
- ② 本体リモコンの〈録音〉ボタンを押します。
※CDは必ず停止状態でおこなってください。
- ③ 録音が始まります。LCDディスプレイに「REC」の表示が点滅します。
※録音中は1曲再生が終わることにその曲のファイルの保存をおこない、その後次の曲の録音に入ります。メディアには1曲につき1つのファイルが保存されます。
- ④ CDの再生が終わると自動的に録音が終了し、メディア内にMP3ファイルが作成されます。
※録音中に中断する場合は、〈録音〉ボタンを押してください。

録音時のご注意

- ※USB接続ポートとカードスロット両方にメディアがセットされている場合は、〈録音〉ボタンを押すと、LCDディスプレイに「USB」「CARD」と表示されます。ファイル作成をしたいメディアを〈早送り〉〈早戻し〉ボタンで選択し〈点滅している方が選択中の項目です〉再び〈録音〉ボタンを押すと、選択したメディアでの録音が始まります(選択しないまま一定期間が経つと自動的にUSBメモリでの録音が始まります)。
- ※録音速度は1倍です。曲の再生と同時に録音します。
- ※メディア内に「AUDIO」というフォルダを自動生成し、その中にMP3ファイルを保存します。
- ※録音用にプリセットされているオーディオファイル形式はビットレート:128kbps、サンプリングレート:44.1KHzです。録音時のビットレート変更についてはP.24を参照してください。
- ※曲名は記録されません。
- ※録音の中断があった場合は、ファイルは保存されません。最後まで記録され、エンコーディングが終わったファイルのみメディアに保存されます。

ビットレートの設定

本製品は録音時のビットレートが128kbpsにプリセットされていますが、32、64、96、128、192、256kbpsの中から選択し設定することができます。変更する場合は録音を始める前に以下の手順で設定してください。

※この操作はリモコンでのみ可能です。

- ① 本体リモコンの〈機能〉ボタンを押して「CD」モードにし、録音したいCDをセットします。

※ビットレートの設定変更はオーディオCDが本製品にセットされているときのみできます。セットされているのがMP3・WMAファイルを保存したCD-R/RWの場合、またCDがセットされていない場合は、「CD」モードにしても設定変更できません。

※「TAPE (カセット)」モード時(カセットテープの音声)をMP3録音する場合(P.31)も同様にビットレートの変更ができます。下記を参照してください。

- ② リモコンの〈情報〉ボタンを押します。LCDディスプレイに現在のビットレート設定値が表示されます(図1)。
- ③ 〈早送り〉〈早戻し〉ボタンを押し、希望のビットレート値を表示させます。
- ④ 再び〈情報〉ボタンを押し、選択した設定を確定します。

変更した設定で、通常の「CD」モード(または「TAPE」モード)に戻ります。

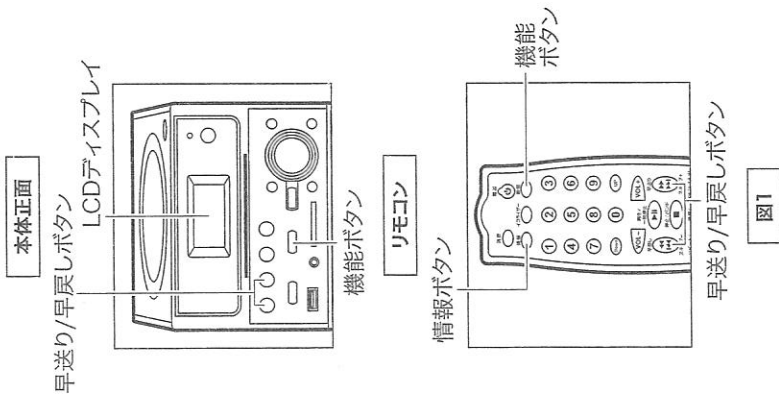
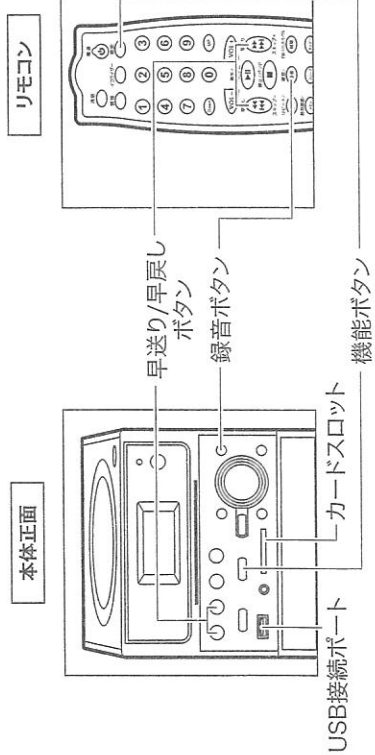


図1



カセットへの録音

CDからカセットへ録音が可能です。

- ①本体/リモコンの〈機能〉ボタンを押し、「CD」モードにします。
- ②本体の〈取り出し〉ボタン(カセット)を押し、カセットドアを開き、録音可能なカセットテープを入れてください。
※カセットテープは**テープ面を下**にして入れてください。

- ③本体の〈一時停止〉ボタン(カセット)を押し、その後で〈録音〉ボタン(カセット)を押し、その後に〈再生〉ボタン(カセット)を押し、ボタンが下に下がりがりきった状態になるまで押し込んでください。カセットテープによる録音が**スタンバイ**の状態になります。

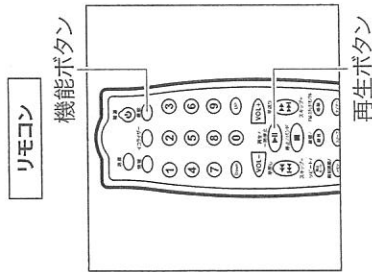
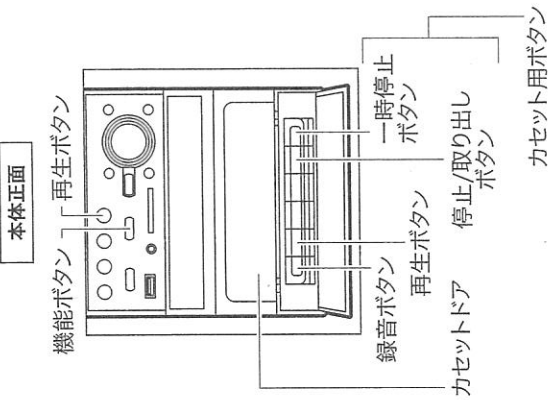
- ④本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押し、録音元のメディアを再生します。

- ⑤〈一時停止〉ボタン(カセット)を押し、録音を開始します。

- ⑥カセットの録音を停止する時は〈停止〉ボタン(カセット)を押し、録音を停止してください。

※録音中に〈一時停止〉ボタン(カセット)を押すと録音を一時停止することができます。再開するときは再び〈一時停止〉ボタンを押してください。

※カセットテープ用のボタンはカセットボタンカバーの中にあります。詳しくはP.30を参照してください。



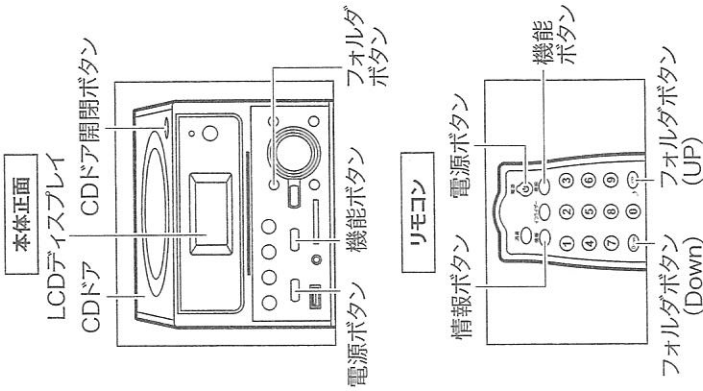
MP3・WMAディスク(CD-R/RW)

本製品は、MP3・WMAファイルが記録されているCD-R/RWを再生することができます。

基本操作

- ①本体/リモコンの〈電源〉ボタンを押した後〈機能〉ボタンを押し**CDモード**にします。CDモードになると**LCDディスプレイ**の上部に「CD」の表示がされます。
- ②**CDドア**開閉ボタンを押し、ラベル印刷面を上**CD-R**をセットし、**ドア**を開めます。
- ③読み込みが終わると**LCDディスプレイ**に**CD-R/RWの情報**(音楽ファイルが入ったフォルダの数と**総曲数**)が表示されます。

再生/停止などその他の基本操作は通常の音楽CDと同じです。P.21、22を参照してください。



情報表示

リモコンの〈情報〉ボタンを押すと、**LCDディスプレイ**に再生中のファイル名が表示されます。もう一度押すと通常の表示に戻ります。ID3タグ情報を記録したファイル(半角英数のみ対応)のみ可能です。

フォルダ間の移動

本体/リモコンの〈フォルダ〉ボタンを押すと、CD内の各フォルダの始めの曲に移動していきます。**LCDディスプレイ**にはその曲の番号が表示されます。

リモコンの〈フォルダ〉ボタンは「UP」と「Down」に分かれており、UPでは昇順に、Downでは降順にフォルダ間移動をします。

ラジオ

はじめに、本体/リモコンの〈電源〉ボタンを押して電源をオンにし、〈機能〉ボタンを押して「TUNER(ラジオ)」モードにしてください。
次に、本体/リモコンの〈バンド〉ボタンを押して「AM」か「FM」を選択します(TV1~3chはFM局より設定できます)。

LCDディスプレイ



選局

本体/リモコンの〈早送り〉〈早戻し〉ボタンを押して放送局の周波数を設定します。
ボタンを長押しすると、自動的に受信可能な放送局を検索します。

チャンネル登録

放送局をチャンネル登録することで、簡単に選局ができるようになります。FMは30局まで、AMは15局まで登録できます。

- ①登録したい放送局の周波数を選択します。
- ②本体/リモコンの〈メモリ〉ボタンを押します。
- ③本体/リモコンの〈選局切替〉ボタンを押して、登録したいチャンネル番号を設定します。

- ④再び〈メモリ〉ボタンを押すと、チャンネル登録が完了します。

複数のチャンネル登録をおこなう場合は、上記の手順を繰り返してください。

登録したチャンネルの選択

登録済みのチャンネルをあとから選択するには、本体/リモコンの〈選局切替〉ボタンを押してください。

コピー時のご注意

※USB接続ポートとカードスロット両方にメディアが入っていた場合は、LCDディスプレイに「USB」「CARD」と表示が出ます。ファイルのコピー先メディアを〈早送り〉〈早戻し〉ボタンで選択し(点滅している方が選択中の項目です)再び〈録音〉ボタンを押すと、選択したメディアでの録音が始まります(選択しないまま一定期間が経つと自動的にUSBメモリでの録音が始まります)。

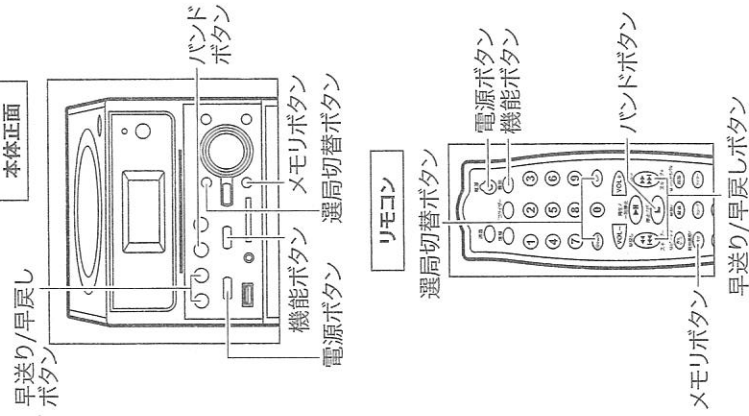
※メディア内に「FCOPY」というフォルダを自動生成し、その中にファイルを保存します。

※曲名は記録されません。

※コピーの中断があった場合は、ファイルは保存されません。最後までコピーが終わったファイルのみメディアに保存されます。

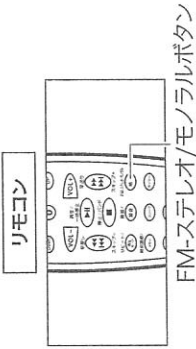
カセットへの録音

CD-R/RWからカセットへ録音が可能です。
録音の方法はCDからカセットへ録音する方法と同じです。P.25「カセットへの録音」を参照してください。



モノラル/ステレオ切替 (FM)

リモコンの〈FM-ステレオ/モノラル〉ボタンを押すと、FM受信時にステレオとモノラルの切り替えができます。FM電波の受信状態が良くないとき、モノラルにすると雑音や音切れを軽減できる場合があります。状況に合わせて設定してください。



アンテナ

AM

AMのアンテナは本体に内蔵されています。受信状態が良くないときは、本体を置く角度を変えてみてください。受信状態が改善される場合があります。

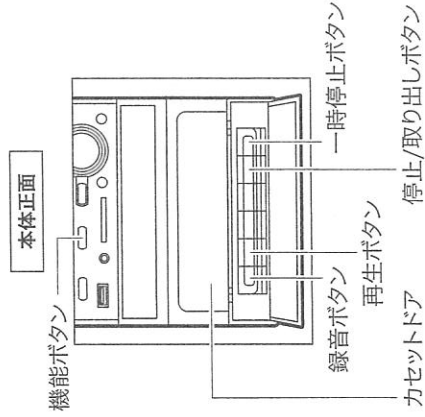
FM

FMのアンテナは本体の背面から出ています。受信状態を良くするために、アンテナは解いて広げてください。

カセットへの録音

- ① 本体/リモコンの〈機能〉ボタンを押して「TUNER (ラジオ)」モードにします。
- ② 本体の〈取り出し〉ボタンを押してカセットドアを開き、録音可能なカセットテープを入れてください。
※カセットテープはテープ面を下にして入れてください。
- ③ 〈録音〉ボタンを〈再生〉ボタンと同時に押し、ラジオの録音が始まります。
※〈録音〉ボタンと〈再生〉ボタンは下で固定するまでしっかりと押してください。
- ④ 録音を停止する時は〈停止〉ボタンを押します。

※録音中に〈一時停止〉ボタンを押すと録音を一時停止することができます。再開するときは再び〈一時停止〉ボタンを押してください。



カセットテープ

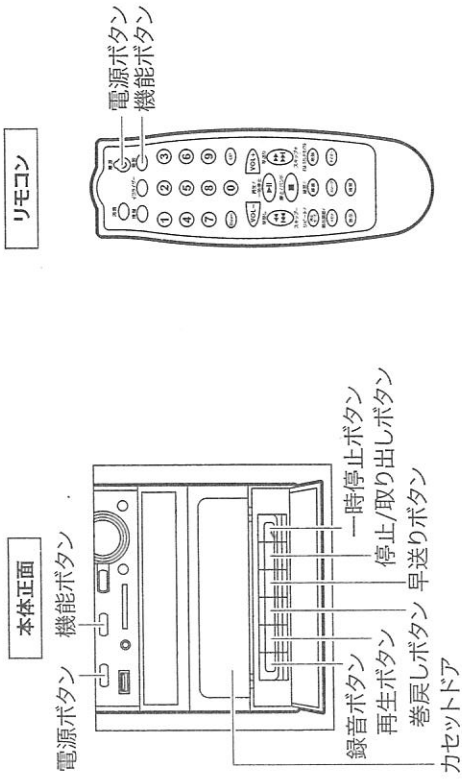
本体/リモコンの〈電源〉ボタンで電源をオンにし、〈機能〉ボタンを押して「TAPE (カセットテープ)」モードにします。

基本操作

本体のカセットボタンカバを開けて、カセットテープ用のボタン類を操作します。

- 停止/取り出しボタン 再生や早送り/巻戻し、録音を停止します。停止中に押すとカセットドアを開きます。再生/録音したいカセットテープを入れてください。
※カセットテープはテープ面を下にして入れてください。
- 早送りボタン テープを早送りします。
- 巻戻しボタン テープを巻き戻します。
- 再生ボタン テープを再生します。
- 一時停止ボタン 再生中に押すと再生を一時停止します。再生を再開するには、再びボタンを押します。
- 録音ボタン 再生ボタンと同時に押すと、テープに録音を始めます。

A面とB面を切り替えるには、一度カセットを取り出して反転して再度入れてください。手前側の面が再生/録音されます。



メディアへの録音

あらかじめ再生したいカセットテープや録音したいメディアを本体にセットしてください。
USBメモリ、メモリーカードの詳細についてはP.32を参照してください。

- ①〈機能〉ボタンを押して「TAPE(カセットテープ)」「モード」にします。
- ②本体/リモコンの〈録音〉ボタンを押すと「USB」または「CARD」と、「REC(録音)」の表示がLCDディスプレイで点滅し始めると、録音が始まります。
- ③本体のカセットテープの〈再生〉ボタンを押します。
- ④録音を停止する時は再び〈録音〉ボタンを押してください。

※録音時のビットレートの変更ができます。P.24を参照してください。

カセットテープの使用上の注意

- 90分を超えるカセットテープは使用しないでください。磁気テープが薄いためテープが伸びたり、回転部分に巻き込まれやすくなります。
 - 再生前に磁気テープのたるみを取り除いてください。テープが巻き込まれることがあります。
 - ヘッド部にゴミやほこり等が付着すると、音質劣化を招きます。市販のヘッドクリーナーキットで月に1~2回くらい掃除をおこなってください。
 - カセットテープに変形等の異常がみられる場合は、本製品で使用しないでください。
 - カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。折られていると録音できませんのでご注意ください。
- ※音声の劣化が認められたら、すぐにクリーニングをおこなってください。

注意

カセットテープの種類にはノーマル(TypeI)、クロムポジション(TypeII)、フェリクロム(TypeIII)、メタル(TypeIV)があります。どの種類のテープについても再生は可能ですが、それぞれ記録されている音声の波形特性が異なります。特にフェリクロム/メタルについては、それ以外の種類とは波形特性が大きく異なるため、本製品のようない対応機器以外で再生した場合、音が濁ってしまうなど正常な音質で再生することができません。

USBメモリ、メモリーカード

本製品ではMP3形式とWMA形式の音楽ファイルの音楽ファイルを保存したUSBメモリやメモリーカード(SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC))から音楽ファイルの再生ができます。また、リモコン操作でのファイルの削除、カセットテープへの録音ができます。

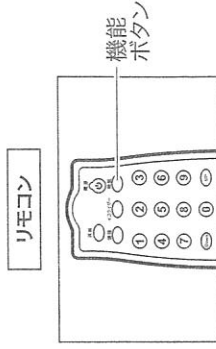
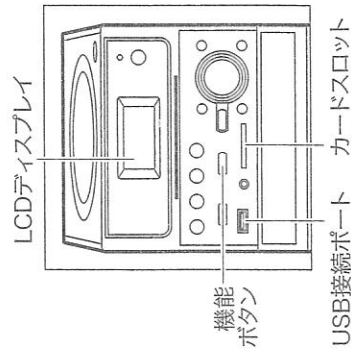
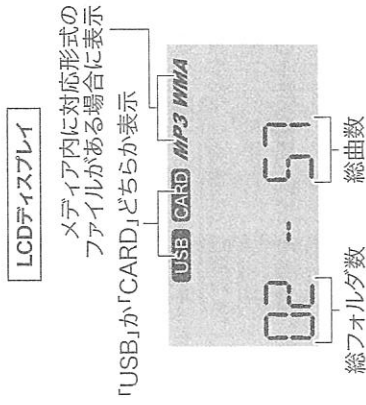
各メディアからUSBメモリ、メモリーカードへの録音、コピーなども行えます。各メディアのページを参照してください。

- CDからの録音→P.21
- MP3/WMAディスクからのコピー→P.26
- カセットテープからの録音→P.30

基本操作

- ①本体のUSB接続ポートにはUSBメモリを、カードスロットにはSDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)を接続します。
- ②①で接続したメディアに合わせて本体/リモコンの〈機能〉ボタンを押し、「USB(USBメモリ)」「モード」または「CARD(メモリーカード)」「モード」にします。
- ③本製品によるファイルの読み込みが終了すると、LCDディスプレイに総フォルダ数と全曲数が表示されます。
- ④以降の操作はMP3・WMAディスク(CD-R/RW)と同じです。P.26を参照してください。

※USBメモリ、メモリーカードの使用上の注意がP.35にあります。あわせてご参照ください。



ファイルの削除

接続したUSBメモリまたはメモリーカード内のファイルの削除ができます。
※この操作はリモコンでのみ可能です。

1 ファイルの削除

- ①「USB」または「CARD」モードでリモコンの〈削除〉ボタンを押します。
- ②LCDディスプレイに「DEL--001」と表示されます(図1)。
- ③〈早送り〉〈早戻し〉ボタンを押すと、ディスプレイ上の表示数字が変更できます。自分が削除したい曲の番号を選択します。
- ④削除したい曲の番号を表示したら、本体/リモコンの〈確認〉ボタンを押します。
- ⑤ディスプレイに「YES」「NO」と表示が出ます(図2)。〈早送り〉〈早戻し〉ボタンを押すと、選択項目の変更ができます。点滅している方が選択中の項目です。「YES」を選んでください。
- ⑥もう一度〈確認〉ボタンを押すと、削除が終了します。

※削除モードの取り消しは〈停止〉ボタンでいつでもおこなうことができます。

図1

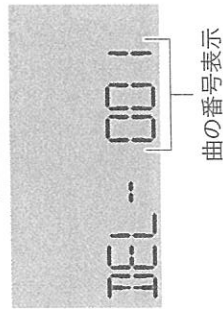
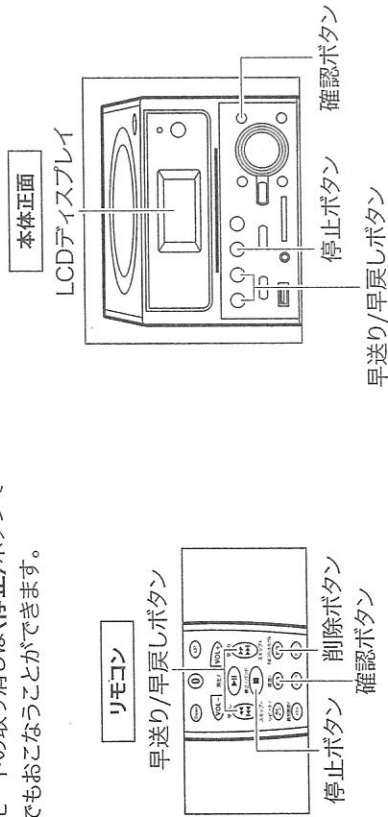


図2



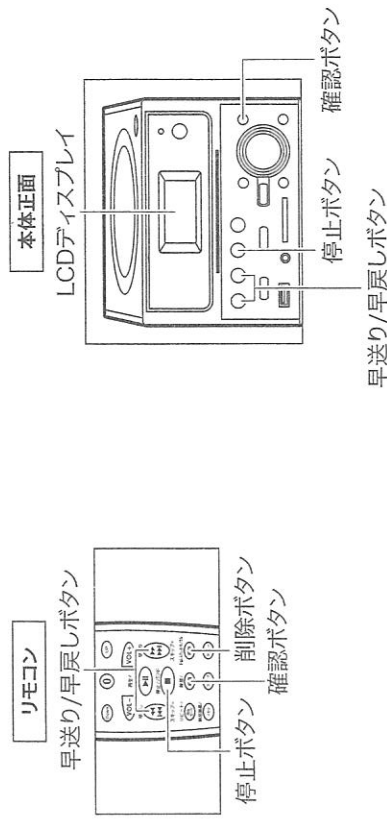
全ファイルの削除(フォーマット)

- ①「USB」または「CARD」モードでリモコンの〈削除〉ボタンを2度押します。
 - ②LCDディスプレイに「FORMAT?N」と表示されます(図1)。最後のNは点滅しています。
 - ③〈早送り〉〈早戻し〉ボタンを押すと、「FORMAT?N(NO)」と「FORMAT?Y(YES)」(図2)を変更できます。「FORMAT?Y(YES)」を選んでください。
 - ④〈確認〉ボタンを押すと、メディア内の全てのファイルが削除されます。
- ※削除モードの取り消しは〈停止〉ボタンでいつでもおこなうことができます。

図1



図2



この操作をおこなうと、本製品で録音した音声データ以外のデータも含め、メディア内に保存されている全てのデータが削除されます。ご注意ください。

一度削除されたデータは復活させることができません。削除の前に記録されているデータの内容をよく確認してください。

その他の機能

カセットへの録音

USBメモリやメモリーカードから、カセットへ録音が可能です。録音の方法はCDからカセットへ録音する方法と同じです。P.25「カセットへの録音」を参照してください。

USBメモリ、メモリーカードの使用上の注意

- **ライトプロテクトスイッチについて**
SDメモリーカードには「ライトプロテクトスイッチ」がついています。このスイッチがロックされている状態では、データの書き込み/削除が禁止され、記録されているデータが保護されます。録音/削除する際には、ロックが解除されていることを確認してください。
- **接続・転送中にカードを取り外さない**
本製品への挿入中、各種メディア内に記録されたファイルの再生、ファイルの録音中に、各種メディアを本製品から取り外さないでください。記録されているデータ、メディア、本製品が破損する恐れがあります。
- **その他の注意点**
 - 記録メディアは精密機器です。乱暴に扱わないでください。また、静電気をおびていると、認識されなかったり、本製品が誤作動する場合があります。
 - メディアを使用中、誤作動や故障により記録データが失われる場合があります。その場合、故障や損害の原因、内容に関わらず、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
 - メディアに異常がある場合は、フォーマット(初期化)することで正常になる場合があります(P.34)。フォーマットを行うと、記録されているデータはすべて失われます。あらかじめご了承ください。
 - メディアが汚れてしまった場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。

※本製品で録音されたSDメモリーカードは、SDオーディオ規格準拠のSD装着型MP3プレーヤー、もしくはPCソフトウェアを必要とするUSB接続端子付MP3プレーヤーでは再生されないことがあります。本製品から録音またはコピーされたSDメモリーカードもしくはUSBメモリでは再生が制限される場合があります。

リピート、イントロ再生、ランダムモード

CD、USB、メモリーカードの再生では通常の再生の他に様々な再生モードがあります。本体/リモコンの(再生モード)ボタンを押すごとに以下のモードが切り替わります。モードの状態の確認にはLCDディスプレイのアイコン表示を参照してください。

■ **1曲リピート: C**
再生中の曲を繰り返し再生。

■ **全曲リピート: C ALL**
全ての曲を繰り返し再生。

■ **フォルダーリピート: C FOLDER**
(USB・メモリーカード・CD-R/RWのみ)
フォルダー内の曲を繰り返し再生。

■ **イントロ再生: INTRO**
冒頭の10秒ずつ全曲再生。

■ **ランダムモード: RAN**
ランダムな順番で再生。

■ **通常モード: 表示なし**
順番に最後まで1度再生して停止。

再生モードの変更は停止中/再生中を問わずおこなえます。

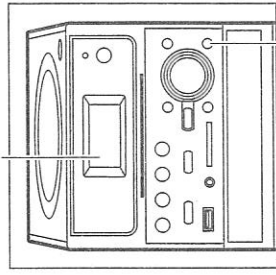
LCDディスプレイ



再生モードのアイコン表示

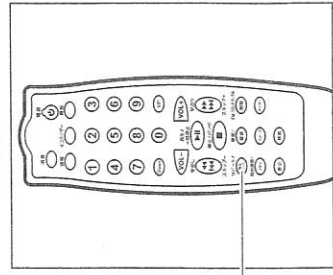
本体正面

LCDディスプレイ



再生モードボタン

リモコン



再生モードボタン

プログラム再生

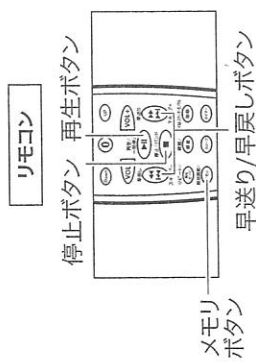
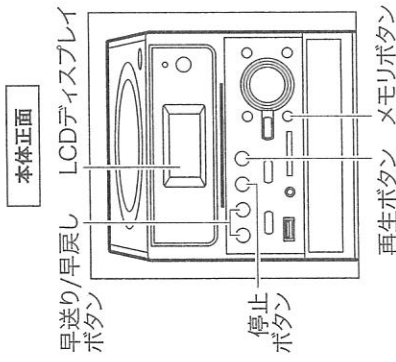
CD、USB、メモリーカードの再生ではメディア内にあるお好みの曲だけを選択し再生することができます(最大32曲までプログラム登録可能)。

- ①再生停止中に本体/リモコンの<メモリ>ボタンを押してください。プログラム画面(図1)が表示されます。
 - ②プログラム番号がLCDディスプレイで点滅します。本体/リモコンの<早送り><早戻し>ボタンを押して、お好みの曲番号を選択します。
 - ③再び<メモリ>ボタンを押すと、プログラム登録されます(プログラム番号が次の数字に移ります)。
 - ④上記の②と③の手順を繰り返し、プログラム登録を続けます(同一曲を複数回プログラム登録することもできます)。
 - ⑤プログラム登録を終えるには再び<メモリ>ボタンを押します。プログラム番号の点滅が止まります。
 - ⑥本体/リモコンの<再生>ボタンを押して、プログラム再生を開始します。
- ※プログラムアイコンが表示されていることを確認してください。

■プログラム再生の設定解除
プログラムの再生を<停止>ボタンで停止し、再び<停止>ボタンを押します。
※プログラムアイコンが非表示になったことを確認してください。

※リピートなどの再生モードの一部は、本機能と併用して利用が可能です。

図1
プログラムアイコン表示



スリープ機能

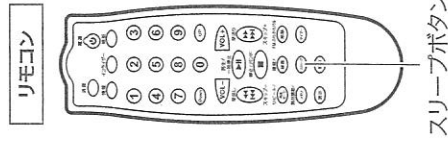
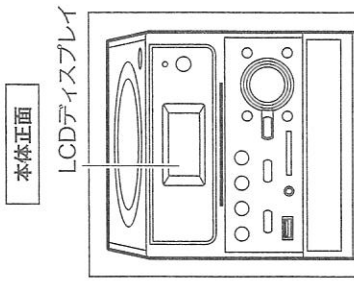
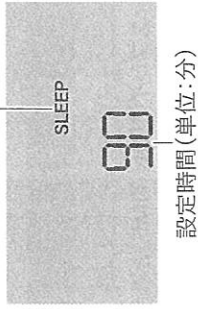
本機能を使用すると、任意の時間の後に、自動的に電源スタンバイの状態になります。

- ①本製品の電源をオンにしてください。再生している場合は停止してください。
- ②リモコンの<スリープ>ボタンを押します。LCDディスプレイに電源スタンバイになるまでの時間が表示されます(右図)。<スリープ>ボタンを押すごとに時間を変更できます。

スリープ機能で利用できる設定時間は**90~10分(10分刻み)**です。
※しばらくすると表示が戻ります。
③設定した時間が経過すると、電源が自動的にスタンバイの状態になります。

■スリープ機能の設定解除
LCDディスプレイに「OFF」と表示されるまで<スリープ>ボタンを押し、表示が元に戻るまでお待ちください。
※スリープアイコン(SLEEP)が非表示になったらことを確認してください。

LCDディスプレイ
スリープアイコン表示(設定時点滅)



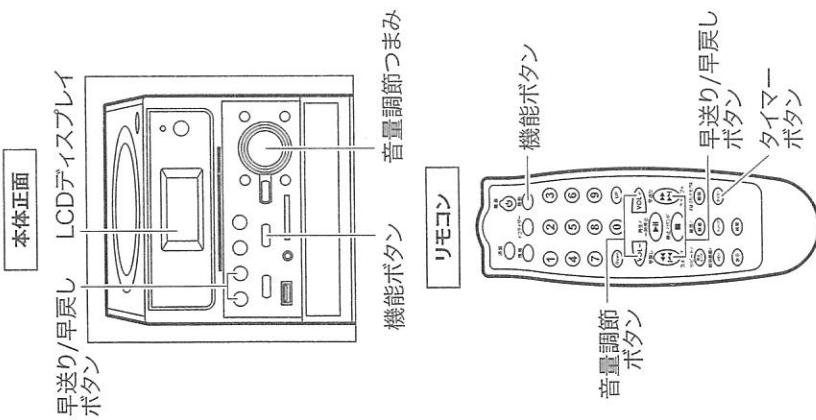
タイマー機能

本機能を使用すると、任意の時間に自動的に電源オンの状態にし、曲の再生やラジオの受信を始めることができます。

タイマー機能の設定方法

- ① リモコンの〈タイマー〉ボタンを、LCDディスプレイに「ON TIME」と表示が出るまで長押しします(ONの表示は点滅しています)。
- ② 再度〈タイマー〉ボタンを押します。
- ③ 電源オン時にどのモードで起動するかを本体/リモコンの〈機能〉ボタンで選択します。希望のモードがLCDディスプレイに表示されたら、〈タイマー〉ボタンを押し、設定を確定します。
- ④ 電源オン時の音量を〈音量〉ボタンで選択します。希望の音量がLCDディスプレイに表示されたら、〈タイマー〉ボタンを押し、設定を確定します。
- ⑤ 電源オン時の時間を〈早送り〉〈早戻し〉ボタンで選択します。希望の「時」がLCDディスプレイに表示されたら、〈タイマー〉ボタンを押し設定を確定します。同様に希望の「分」を設定します。
- ⑥ LCDディスプレイに「OFF TIME」と表示されます(OFFの表示は点滅していません)。
- ⑦ 再度〈タイマー〉ボタンを押します。
- ⑧ ⑤の電源オン時の時間設定と同じやり方で電源スタンバイ(オフ)の時間を設定します。
- ⑨ ⑧で「分」を入力したあと〈タイマー〉ボタンを押すと、タイマー機能設定は終了します。

※「TAPE (カセットテープ)」モードでタイマー機能を利用し電源オン時に自動的に再生を始めた場合は、あらかじめカセットの〈再生〉ボタンを下まで入れておく必要があります。



タイマー機能のオン/オフ

リモコンの〈タイマー〉ボタンを押すと、タイマー機能のオン/オフができます。

電源がオンの状態でも、スタンバイの状態でも可能です。

LCDディスプレイに ☹ のアイコンが表示されている時はタイマー機能がオンの状態です。非表示時はオフの状態です。

※設定をしただけではタイマー機能をオンにしたことにはならないので、ご注意ください。

LCDディスプレイ



タイマーアイコン表示

イコライザー機能

本製品にあらかじめ設定されたイコライザー機能を使用して、音声を再生することが可能です。

本体/リモコンの〈イコライザー〉ボタンを押すごとにイコライザーモードを変更/設定できます。

『CLASSIC』 → 『ROCK』 → 『POP』
← 『FLAT (通常再生)』 ← 『JAZZ』 ←

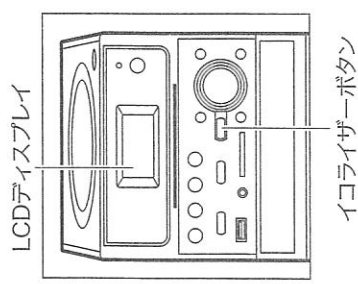
FLAT以外の設定ではLCDディスプレイにイコライザーアイコン(☹)が表示されます。※イコライザー設定はモードを変更しても継続されません。

LCDディスプレイ

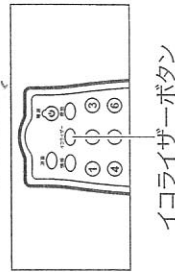


イコライザーアイコン表示

本体正面



リモコン



画面表示

情報ボタン

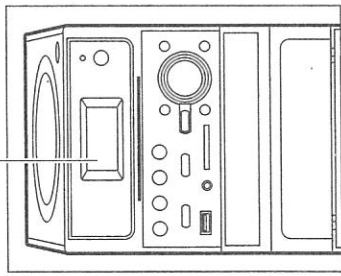
MP3・WMAファイル再生中にリモコンの〈情報〉ボタンを押すと、その曲のタイトルがLCDディスプレイに表示されます。もう一度〈情報〉ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

※ID3タグ情報を記録したファイルのみ可能です。

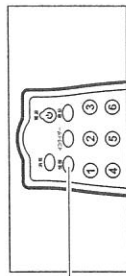
※ID3タグの表示は半角英数のみの対応です。

本体正面

LCDディスプレイ



リモコン



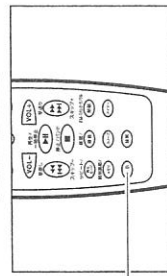
情報
ボタン

表示ボタン

リモコンの〈表示〉ボタンを押すと、タイマー機能の設定がLCDディスプレイに順番に表示されます。

しばらく待つと元の表示に戻ります。

リモコン



表示
ボタン

タイトル/フォルダ検索

本製品は、メディア内に保存されているMP3・WMAの音楽ファイルの検索ができます。

ファイルを検索する

最初に検索したい音楽ファイルが記録されたメディアを本体にセットします。ファイルの再生はおこなわないでください。

- ① 本体/リモコンの〈機能〉ボタンを押して、検索したい音楽ファイルが記録されたメディアのモードに設定します。
- ② リモコンの〈検索〉ボタンを押すと、検索画面がディスプレイに表示されます(図1)。

- ③ 本体/リモコンの〈早送り〉〈早戻し〉ボタンを押すと、検索の頭文字の変更ができます(A～Z、0～9の順)該当のファイルが検索されるまでボタンを押します。

- ④ 頭文字が一致したファイルが検索されたあとに本体/リモコンの〈停止〉ボタンを押すと、図2の表示に変更されます。

- ⑤ 図2の状態では本体/リモコンの〈早送り〉〈早戻し〉ボタンを押すと、頭文字が同一のファイルが順に表示されます。

- ⑥ 再生したいファイルが検索できたら、本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押して、ファイルを再生させます。

※ファイルの消去、コピー等は、一度ファイルの再生を停止した後におこなってください。

図1



検索の頭文字 頭文字検索されたファイル名

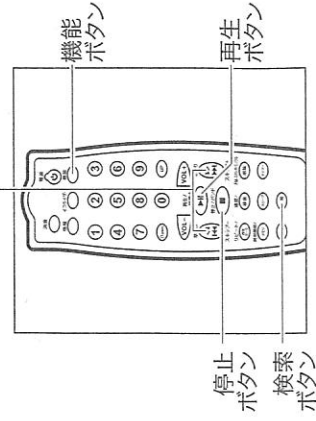
図2



同一の頭文字内(例:Aで始まる)でのファイル検索が可能

リモコン

早送り/早戻しボタン

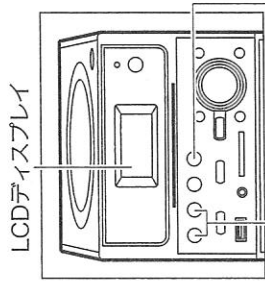


フォルダを検索する

前ページのファイルの検索中にリモコンの〈検索〉ボタンを押すと、フォルダの検索画面に変更されます(右図参照)。

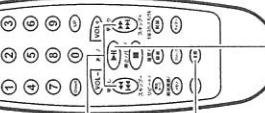
- ①フォルダの検索画面で本体/リモコンの〈早送り〉〈早戻し〉ボタンを押すと、フォルダの検索をします。
- ②本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押すと、検索されたフォルダ内に保存されたファイルの再生が開始します。

本体正面



早送り/早戻しボタン

再生ボタン



早送り/早戻しボタン

検索ボタン

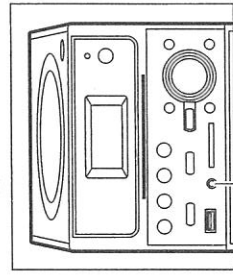
再生ボタン

ヘッドフォンを使う

本体のヘッドフォン出力端子に、別売のヘッドフォンを接続します。音声出力がヘッドフォン優先になり、スピーカーから音が出なくなります。

※事前に音量を下げてから接続を行ってください。

本体正面



ヘッドフォン出力端子

トラブルシューティング

故障かな?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状

処置・確認

電源が入らない

- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んであるか確認してください。
- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んであるか確認してください。
- スピーカーが正しく接続されているか確認してください。
- 音量が消音や最小になっていないか確認してください。
- ヘッドフォンやイヤフォンを接続しているとスピーカーから音が出ません。接続されていないか確認してください。

音が出ない

ノイズが入る

- テレビなどの強い磁気を帯びたものの影響を受けている可能性があります。テレビと本製品を離して設置してください。

音が飛ぶ

- ディスクに大きな傷があったり、汚れていたりすると、音飛びすることがあります。

再生されない (オーディオCD)

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり、損傷していないか確認してください。
- 本製品に対応しているディスクか確認してください。

再生されない (CD-R/RW)

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- ファイルに拡張子が付いていないと再生できません。ファイルに「.mp3」「.wma」の拡張子を付けて書き込みを行ってください。
- 音楽ファイルが正しく保存されているか確認してください。

再生されない (USBメモリ)

- USBメモリが正しく接続されているか確認してください。
- MP3、WMAファイル以外の音楽ファイルは再生することができません。
- ファイルに拡張子が付いていないと再生できません。ファイルに「.mp3」「.wma」の拡張子を付けてください。
- 音楽ファイルが正しく保存されているか確認してください。

症状	処置・確認
再生されない (メモリーカード)	<ul style="list-style-type: none"> ●メモリーカードが正しくセットされているか確認してください。 ●MP3、WMAファイル以外の音楽ファイルは再生することができません。 ●ファイルに拡張子が付いていないと再生できません。ファイルに「.mp3」「.wma」の拡張子を付けてください。 ●音楽ファイルが正しく保存されているか確認してください。
再生されるまでに時間がかかる(オーディオCD)	<ul style="list-style-type: none"> ●曲数が多いと読み込みに時間がかかることがあります。
再生されるまでに時間がかかる(CD-R/RW、USBメモリー、メモリーカード)	<ul style="list-style-type: none"> ●オーディオCDに比べて読み込みに時間がかかります。 ●曲数、フォルダ数が多いと読み込みに時間がかかることがあります。
録音できない (オーディオCD、CD-R/RW)	<ul style="list-style-type: none"> ●録音することはできません。
録音できない (USBメモリー)	<ul style="list-style-type: none"> ●メモリの空き容量が足りないと録音することができません。パソコンまたは本製品でファイルの削除などをして、容量の空きを作ってください。
録音できない (メモリーカード)	<ul style="list-style-type: none"> ●メモリの空き容量が足りないと録音することができません。パソコンまたは本製品でファイルの削除などをして、容量の空きを作ってください。 ●ライトプロテクトスイッチがオンになっていると録音する事ができません。スイッチをオフにしてください。
ラジオが聴けない・ノイズが多い	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの位置を変えてみてください。 ●コンクリートの壁等で電波が遮断されていると放送を受信しにくくなります。 ●FMステレオモードをFMモノラルモードに変更してみてください。 ●近くに自動車が行ったり、飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。 ●テレビやパソコンから離してください。

症状	処置・確認
リモコンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池の極性(+/-)が表示通り正しく入っているか確認してください。 ●電池を新しいものと交換してみてください。 ●リモコンと本体の距離が開きすぎていませんか？ ●リモコンと本体の間に障害物があるとリモコンの信号が本体に届かないことがあります。 ●本体のリモコンの信号の受光部に強い光等が当たっていませんか？
正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●静電気やノイズなどの影響により、本製品が動作しなくなる可能性があります。電源ボタンを押して、電源のオン/オフを試してみてください。また、電源プラグを抜いてもう一度差し込み直してみてください。
曲が順番通り再生しない	<ul style="list-style-type: none"> ●リピート、イントロ再生、ランダムモード等の設定がされていませんか？ 設定の解除をしてください。

仕様

再生可能メディア	CD、CD-R/RW、カセットテープ、USBメモリ、SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)
録音可能メディア	カセットテープ、USBメモリ、SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)
メディア対応容量	SDメモリーカード/マルチメディアカード：最大2GBまで
再生フォーマット	CD-DA、MP3、WMA
	MP3再生 ビットレート : 8~384kbps サンプリングレート : 32~48KHz
	WMA再生 ビットレート : 8~384kbps サンプリングレート : 32~48KHz
録音フォーマット	MP3
	MP3録音 ビットレート : 32~256kbps サンプリングレート : 44.1KHz
	録音速度 : 1倍速
ラジオ受信方式	PLLデジタル方式
ラジオ受信周波数帯	AM: 522~1629KHz FM: 76~90KHz TV1~3チャンネル
ディスプレイ	LCDディスプレイ
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	18W
スピーカー出力	4W(2W+2W)
出力端子	ヘッドフォン出力端子、スピーカー出力端子
ポート/スロット	USBメモリー接続ポート、カセットテープスロット、SD/MMCカードスロット
本体寸法・重量	約W150×H225×D193mm(突起部のぞく) 約2.1kg
スピーカー寸法・重量	約W146×H225×D160mm(突起部のぞく) 約0.9kg
使用環境	温度: 0~40℃ 湿度: 最大90% (結露なきこと)

すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。
※本製品にはメモリーカード、USBメモリー等の記録媒体は付属しておりません。
※本製品はコピーコントロールCDなどの特殊ディスクの再生は保証しません。
※CD-DAのフォーマットで記録された音楽用CD-R/RWを再生できませんが、記録状態によっては再生できない場合があります。

〈商標について〉

記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書内容を無断で複写、転載しないでください。

※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差がある場合がございますがご了承ください。

※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。